

人生100年時代に向けて

ファイナンシャルプランナー(以下FP)は金融・保険会社などの企業内で資格を持つ人も多数いますが、当組合は平成13年に県内の独立系のFPが集まり設立されました。これまで家計、老後の資金、教育費や住宅ローン、保険の見直し、資産の運用・管理、相続など、くらしとお金に関するさまざまな悩みに対し、専門知識をもって相談業務を行ってきました。近年急速に少子高齢化が進行していることから、高齢者を対象に、老後の生活設計や自分の身を守るための生活関連情報を提供することを目的に新たに相談窓口「オリーブの木」を設立しました。

人生100年といわれる長寿化が進む中、高齢者が貧困により破産状態の生活を送らざるを得ない「老後破綻」も増えており、将来

的には高齢者の半数以上が破綻するのではないかという社会問題となりつつあります。この原因の一つに高齢者の社会的孤立があり、特に、近所づきあいがほとんどない人、困ったときに頼れる人がいない人が増えています。高齢者の孤立を防ぐためには、不安や悩みを話せたり、ちょっとした相談ごとができる場や人間関係をつくることが重要と考えます。オリーブの木では、相談者の悩みに関して、選択肢を提示し、それぞれのメリットやリスクの情報提供を行っています。高齢者が不安を抱え、社会から遠ざかることなく、自分自身の役割を自覚し安心して生活することができるよう、いつでも傍にいて話し相手になることを心掛けています。

